

パブリック・サービス研究分科会 1月 「業務委託と専門職」研究グループ報告書	
日時	2011年1月27日(木)
場所	成城大学図書館4F会議室
記録	生澤(獨協大学)
参加者	生澤(獨協大学)、撰(国立音楽大学)、加藤(文化女子大学)、塩瀬(女子栄養大学)、 嶋崎(昭和女子大学)、杉本(成城大学)、山田(武蔵大学) (氏名五十音順)

#### 【前回までの流れ】

嶋崎さん作成の「大学図書館の業務委託の良い点と問題点」に基づき、業務委託のメリット・デメリットを委託側・受託側双方の立場から精査した。

#### 【作業内容】

各自が収集した業務委託に関する文献、資料等を読んだ上で議論を展開した。

#### 【提案】

- ・派遣や業務委託、アウトソーシングなどの用語を、根拠となる法律をもとに整理し直す必要がある。(経営学の側面からも?)
- ・受託側の企業の方を数社お招きし講演していただく。(他の分科会の方にも案内を出す?)
- ・講演会の実施報告がグループとしての成果報告になりうる。  
→開催時期や依頼する講演内容 etc 準備が必要。
- ・成果を総合展のポスターセッションなどで発表してもいいかも。(分科会のPRも兼ねて)

#### 【業務委託を中心とした意見・興味のある事】

- ・図書館から業務委託を切り離すことはできない。
- ・利用者から見れば同じ図書館のスタッフであり、誰がサービスを提供しているかは関係ない。利用者が満足するサービスを提供することが大事。
- ・カウンター業務が委託されたことでマニュアル通りの対応しかしてもらえず、従来のように融通がきかなくなることも。
- ・業務委託導入後、業務上どういふことをやっていいのか、やってはいけないのか。
- ・委託スタッフがどういふ教育を受けているのか。
- ・下請けと考えられる委託形態もあるのでは。

#### 【専門性を中心とした意見・興味のある事】

- ・図書館として何ができるか、図書館の存在意義や将来性を考えたい。(グループから独立、もう1グループに入る可能性も)

#### 【次回までの課題】

- ・受託側企業に聞いてみたいことを各自でまとめる。
- ・派遣と業務委託の違いを関連法案等をもとに整理する。
- ・専門性についてどういふことを研究したいのか整理する。